

薄光会広報紙

# きらめき★

2004年 8月号

薄光会の広報紙が新装開店いたします。

今回は準備号です。

紙面は各施設の広報紙で構成されています。

薄光会 広報委員会



【薄光会のイメージマークについて】



紫 : 法人立ち上げの時の「薄光会」のそもそもの名前の由来  
「夜明け前の闇の中に、  
うっすら明るくなっていく光のイメージ」

黄 : 未来への希望

赤 : 職員スタッフの熱意

緑 : 利用者の安寧な生活と人生を望んで

# 園だより

## 「施設はいつでも復元力が試されている」

新職員へ、そして先輩職員へ

湊ひかり学園がこの四月に開設され、職員集団が二つに分かれて、あるいは豊岡光生園に新しい職員が加わって、新体制で船出して三ヵ月半、皆さんの頑張りで今日までやってきました。

われわれにはまがりなりに長年の実績や経験がありますから、たとえ一時的に持つる力量が少々落ちたとしても、基本を揺るがせなければ、またすぐに回復すると私は固く信じています。共にやってきた皆さんがいるからです。明けの明星を見るように、同じ方向を見つめている仲間がいるからです。

けれども、この二つは意識させていなければ、人間の性質ととも言いましょうか、絶対に流れに任せると「高きから低きへ」「難きから安きへ」「いじしいが船が傾くままにならて」「いじしいは転覆してしまつような事態を迎える羽目になります。」「おまるていじしいでも『われわれの復元力』が試されているのです。

七は言つても、そつじつ事態を避けるために、声高にスピーカーばかりを鳴えていても何の解決にもならないでしょう。必要なのは、明日への展望を思い描きながらも、目の前の課題や問題に前向きに取り組んでいくこと

そして確実に積み上げていくことだと思えます。それが、『われわれの推進力』なのだと思えます。

『復元力』と『推進力』は共に失つてはならないものです。失えば、施設といつものは確実に、牢獄や地獄と化します。これは肝に銘じておきたいことなのです。それでは、『復元力』と『推進力』を失わないためには、どうしたら良いでしょうか。

三つあります。一つ目は、気づきです。利用者の変化や状態をはじめとして、様々なことに気づかねばなりません。「気づき」は自分を磨き鍛えることで得られます。二つ目は、『気づき』です。利用者に対してはもちろんのこと、保護者やお客様、仲間同士で相手を理解する努力が必要です。そのためには、立場を入れ替えてみるのが一番です。三つ目は、『伝え合ひ』です。「言葉ほど不完全なものはない」とよく言われます。思ひだけで気持ちを通じてしまつこともあります。伝えるという行為は様々な形があります。けれども、伝えようとする『意志』がなければ、明確に十分伝わるものではありません。そつじつた『意志』こそそれぞれの人の「生きる姿勢」や「生き方」にほかなりません。「伝え合ひなごいじしいへいへいへい、俺は一匹狼だ」という人もいます。でも、残念ですがそつじつ人には「この仕事は向いていないようですね」と言われはなりません。

元力』と『推進力』はあるはずもありません。施設は傾き続け、悪化の一途をたどり牢獄や地獄と化し、救いようのない惨状を呈するようになるのです。

二つで、一言付け加えねばなりません。それは、『伝え合ひ』の「質」です。セリフ的に伝え合つたり、気の合うものだけの伝え合ひだったり、ある一群の人たちを排除する形での伝え合ひであったならば、復元力が生まれるどころか、自滅の道をひた走ることになるということです。暗雲が垂れ込め、あつちなことを「さつちでひそひそ」、これでは必ずや組織的に内部が腐り、膿を持ち、崩れ去るばかりです。

こんなことになるなら、白田の下で、衆目にさらされながら、言いたいことを言つて大喧嘩したほうがいい。傷が深くても、膿を持たずに済む。それどころか、解決の糸口が掴みやすいし、思わぬ智慧が湧くものです。予想外の発展の契機になることだってあります。

「世間ではそんなこと通用しないよ」「世の中、分かつちやいなね」「言葉いじしいとてね」「なんて、たいそつ物知り顔で高邁な批評が聞こえてきそつですが、私は、あえて大声で言つじつにします。

て沈んでいく施設といつもの船の悲惨な犠牲者たちはいつも障害者だということをも身をもつ知つて居るからです。」

鳥居

## 新職員紹介

初めまして。三月十一日から光生園の一員となりました、渡辺 美江 と申します

初めて福祉の仕事に就き、分からない言ばかりですが、これから一生懸命にいろいろなことを覚えていこうと思つています。

四月から光生園で働いている、新人の林 陽子 です。

周りからはかなりマイペースだといわれますが、いろんなことに挑戦することが大好きな、ひかひかの一年生です。まだまだ勉強不足ですが、皆さんよろしくお願ひします



# 真実の顔

シリアスな表情の内側に若干しほりのにじみかき秘めている橋本さん。

厨房さんとの挨拶は毎日のうれしい習慣となり、食器を片付けるのが待ちきれなくなっている橋本さん。そんな橋本さんですが、まだまだ真実の顔が隠されていたのです。物静かにいすに座っている橋本さんの目が輝きます。無表情と思いきや、通りすがりの女性の胸にタッチー。

「ふふふふふ」満面の笑み。

今度は隣に座っている女性を熱いまなこで見つめています。すっと手が伸び、胸をタッチー。

「ふふふふふ」思わずもれる声。

自分でひげをそれるのに、女性職員に「剃ってよ」と普段聞けない大きな声。

「やーだ橋本さん、狙ってるでしょっつー」

旅行先で、夜のショーを見てからというものの、橋本さんは今まで隠していた自分を、惜しげもなく見せてくれるようになりまし。

まるで、青春時代をやり直しているかのようです。職員に注意を受けても、「ふふふ」の声と、なんともいえない笑顔でうまく切り抜けています。

頑固親父のイメージだった男性が、いつの間にか、青春真っ盛りの男性へと変わってしま

す。何となく若返りしてきているように感じられる橋本さん。支えられて、そろりそろりと歩いてきたのに、一人でしっかりと歩き出している橋本さん。そして、周りのことをとてま気にするようになった橋本さん。六十二歳の青春到来。まだまだ隠れている顔を見せてほしいものです。

「これ以上青春すると警察に捕まっちゃうわよ」

女性一同

# お別れ公衆電話

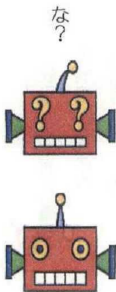
A エー、世の中には思い通りにならず、悲しいことがありますな。

B なんやの？

A 「お別れ公衆電話」ですわ。

B えらく、ぶるーい歌でんな。松山けい子とか言う人が歌ってたらしいけど、生まれる前のことやから、よう知りまへんな。ああ、君、また失恋したんかいな？

A 「また」 つて、失礼ゆる。ちがいますよ。



連れ去られてしまったんで。

B え、拉致された？ は、犯人は誰や、心当たりでも？ け、警察はどないしてんねん！

A 落ち着いてくださいな。警察は関係ありまへん。N.T.ですわね。連れ去ったのは。

B N.T.って電話会社の？ いまどき、君の彼女を連れ去って交換手でもさせるんですかいな。年季奉公とか言つて。

A 違いますつて。実はな、光生園のな、公衆電話が持つていかれてしまったんで

す。

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

A なんやえ？

B なんやえ？

で電波が来んし、届かんですわ。ケータイが使えんばかりに、職員寮の住人なんか

余分に電話、ひいとりましますのや。いわばN.T.にたあくさん貢献してますのや。見返りで公衆電話「つーくらい」置きなはれて、わては言いたい。人数は確かに少ない。けどな、使っている人がいるんやで

B なるほどな。 「圏外」 「圏外」 「圏外」か。そりやあ、不便やな。不便なんてもんじゃありませんで。それに、パソコン使うにもADSLも来とらんやせ。何とかしてーな。時代に取り残されてしままんがな。豊岡の地域ぐるみで、地域の若者が希望をもてるようにしてくれまへんか。

A ふーむ。ふーむ。ふーむ。

B 何が言つことおまへんのかいな。 「ふーむ」 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

A 一む 「ふーむ」 して。

B 一む 「ふーむ」 して。

電話の…



〜鳥居〜

# 光陽

## 「三芳光陽園の湯」

### 成分分析終わる」

加藤前園長の舊き土産、温泉の成分分析がようやく終わりました。浴用、飲用共に適応症があり、これで、パンフレットやホームページに堂々と「三芳光陽園の湯」と書けることになりました。

泉質は「アルカリ性低張性冷鉱泉」ナトリウム・硫酸水素塩・塩化物泉。(よく分からないけど、体によさそうな響き！)

浴用の適応症は、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩(四十肩はだめなのかしら?)、運動麻痺、関節のこわばり、打ちみ、くしき、慢性消化器病、痔疾(薄光会大痔主の会の皆様、歓迎いたします)、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、ざりきず、慢性皮膚病、やけど、虚弱児童、慢性婦人病。

禁忌症は、急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)だそうです。

飲用の適応症は、慢性消化器病、慢性便秘

(お悩みの方、一度試してみてください)

がでしょうか、糖尿病

(飲んでみよ〜と)、痛風、

肝臓病。

禁忌症は、肝臓病、高血圧

症、その他一般にむくみのあるもの、甲状腺機能亢進症だそうです。

色々な病気を抱えた

お年寄りの方々に問題が生じないよう、注意しながら温泉入浴を楽しんでいただきたいと思えます。

最後に、加藤事業統轄、

残念でした。頭髪障害には適応症はないそうです。(原稿用紙の回つ「

」お前にだけは言われ

たくない」

と言っている顔が浮か

びます…。(😊)

施設長 神谷 亨

# 三芳光陽園 ニュース

## 「文明開化」

「うす〜い〜」「違う〜濃くないの〜」こんな職員と園長の会話が職員室でたびたび聞かれるようになったのは、五月の末ごろからだっただろうか。

髪の毛の話ではない。コピー機の調子が悪くなり、一番濃い設定にしても、字が薄くて(濃くなくて)、読みとれない。リース期間も終わり再リースの契約をしたばかりだが、修理の業者にも、さじを投げられる始末。それならば…と、清水の舞台から飛び降りたつもりで買い替えを決意することになった。

七月二十八日、待望の「コピー機が搬入された。カラーコピーにファックス、スキャナー機能を備えた最新版。パソコンに接続することで、ホームページができて、迷惑メールも

出力しなくて済む優れ物。まさに文明開化なのであつた。すかさず、「う〜」で一句。

「うす〜い頭をたいてみれば、

文明開化の首がす〜」

(詠み人知らず)

ところが、落とし穴があつたのだ。

ハードが新しくなつても、ソフトつまり扱う人間が、この文明の利器になかなかついていけない。

「コピーの時はどちらの面を上にするの?」

「ファックスの時は? 画面「コピー」のときはどうやるの?」

誰かが、「コピー」やファックスを使うとするものならば、そこはもう黒山の人だかり。あ〜でもない、こ〜でもないの大騒ぎ。ちゃんと「コピー」やファックスができて「お〜」っと歓声上がる始末。文明の開化はまだまだ先か? 開化しなかつたらどうしよう…。



～鴨川ひかり学園～

## ひかり通信

去る七月二十四日、当鴨川ひかり学園フランドにて、今年で八回目となる恒例の夏祭りを開催しました。当園利用者と保護者の方々、地域の皆様約二百名が参加し、夕方五時から、地元の子供

たちの祭囃子でスタート。その後、安房養護学校の職員によるソフトラフションやゲーム大会、そして地元ゆかりのある歌手、松本久美さんの歌謡ショーと続き、参加利用者は大喜び、舞台上上がり、司会者と一緒になって楽しんでおられる方もいました。

また、焼き鳥や焼きそば、ミネソラフルト、カキ氷などの模擬店も、市内のボランティア

の方々十一名の協力によりオープン。

食べることに夢中になっている方々も多く見つけられ、皆さんそれぞれに夏祭りを楽しんでいる様子が伺えました。

来園したお客様、利用者の方とのふれあい、更に、これからも地元に関与した施設を目指して、職員一同、鋭意勤めてまいりたいと思います。

夏祭り最後に打ち上げの

れた、花火に思いを

馳せながら...

中川

# ひかり学園ニュース

～ひかり学園～

## 学園新聞

開園して四月、湊ひかり学園初の大会「シンギスカンパーティー」が七月二十四日、盛大に行われました。

以上に食事も進み、大いに楽しんでいただくに感じました。しかし、ハッピーはつき物です。食べ過ぎておなかをこわしてしまった方、未成年なのに、ビールを自らカップで飲んで飲んでいた方。みんな食べ過ぎて困るくらいなのにも、いつか遠く光景や周囲が気にならぬ食事をしてはなかった方など、色々ありました。

湊ひかり学園第一回のイベントとしては、良い思い出となり、何年か後にまた思い出してもう一度この日に戻れるような記念すべき思い出になったと思います。

## 編集後記

今回から新たな広報紙として、新規一変した薄光会の新聞はいかがでしたか？

これからも、各施設の色々な出来事、利用者様の様子をたくさん伝えていきたいと思っております。

また、皆さんからの意見や感想を取り入れた広報紙にできればと思っています。

鈴鹿

